

## 令和6年度 第1回水産研究所研究評価委員会 （中間評価結果）

日時 令和7年3月4日（火）13時30分～16時45分  
 場所 WEB 会議  
 委員 国立大学法人 三重大学大学院生物資源学研究科 教授 筒井 直昭  
 国立研究開発法人 水産研究・教育機構 水産技術研究所 養殖部門 副部門長 奥村 卓二  
 三重県漁業協同組合連合会 常務理事 植地 基方  
 生活協同組合コープみえ 副理事長 安村 富子  
 北村物産株式会社 代表取締役社長 北村 裕司

中間評価 「内水面漁場環境調査事業」  
 「イセエビ資源安定化技術開発事業」  
 「養殖魚の新しい疾病防除技術開発」

評価項目を、研究の進捗状況、目標達成の可能性、課題の取扱いとし、評価を実施した。結果は下表のとおりであり、研究の進捗状況について「ほぼ目標通り」と評価された事業もある一方、「やや遅れ」と評価された事業もあった。評価委員会における指摘・助言等を参考に、必要に応じ研究計画の見直しを行い、効果的・効率的に取り組むことで、目標の達成を目指す。

中間評価結果（数字は委員5名中の該当委員数）

| 課 題 名            | 研究の進捗状況 |        |      |    | 目標達成の可能性 |    |      |       | 課題の取扱い    |               |       |
|------------------|---------|--------|------|----|----------|----|------|-------|-----------|---------------|-------|
|                  | 計画以上    | ほぼ目標通り | やや遅れ | 遅れ | 非常に高い    | 高い | やや低い | 極めて低い | 継続して完成させる | 課題の整理、予算縮小が必要 | 中止すべき |
| 内水面漁場環境調査事業      | —       | 5      | —    | —  | —        | 5  | —    | —     | 5         | —             | —     |
| イセエビ資源安定化技術開発事業  | —       | 5      | —    | —  | 1        | 4  | —    | —     | 5         | —             | —     |
| 養殖魚の新しい疾病防除技術開発* | —       | 2      | 3    | —  | —        | —  | 4    | —     | 5         | —             | —     |

\* 「養殖魚の新しい疾病防除技術開発」における目標達成の可能性に関して1名の委員は「わからない」と評価